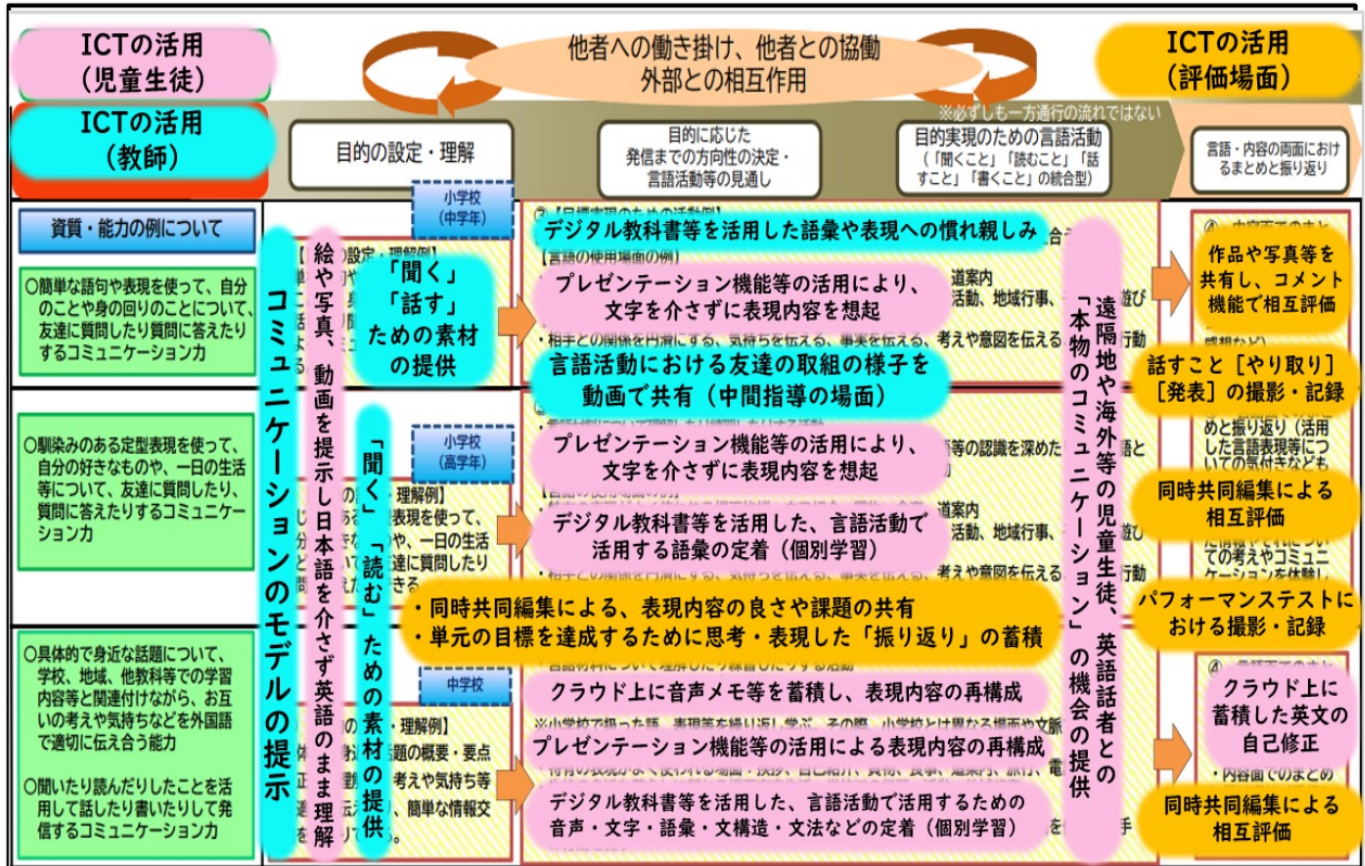
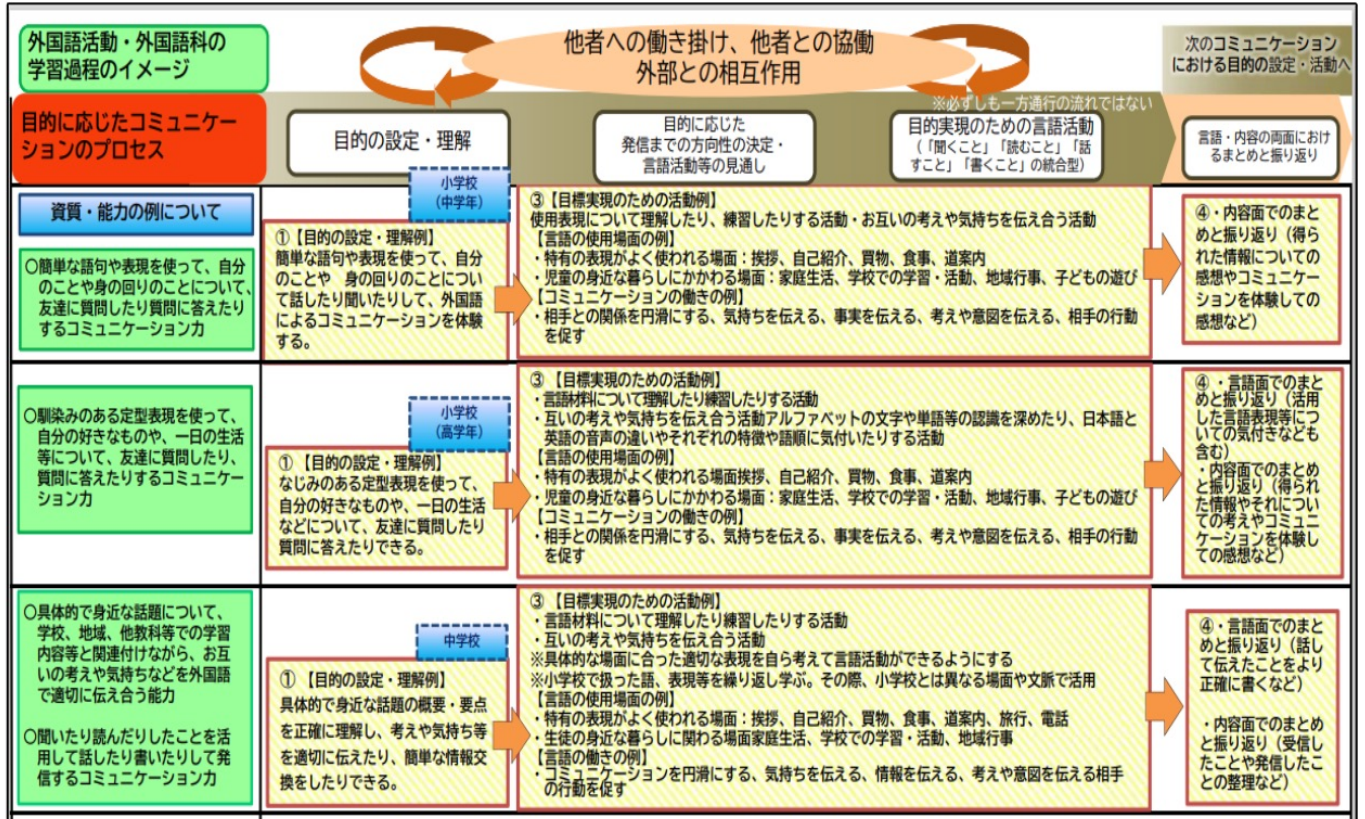


外国語



学年・題材名：中学校3年・Unit 3 Animals on the Red List

見方・考え方：聞き取った英文を絶滅危惧種を守ることや他者への伝え方に着目して捉え、情報を整理しながら自分の考えを形成し、再構築すること

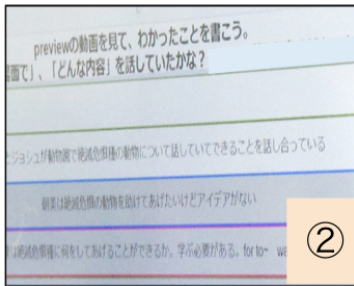
ICTの活用：学習者用デジタル教科書の会話の内容から捉えた情報や考え等を共有
学習場面：聞き取った内容から概要を捉え、単元全体の学習内容を把握する場面

「課題設定」に至るまでの流れと次の学びへのイメージ

教科書の単元冒頭で設定されている「ダイアログ」の音声を聞き、会話から必要な情報や概要を捉え、全体で共有する。登場人物2人のレッドリストの野生動物に対する考えや、2人から問題提起されたことに対して、自分の考えを説明することを課題に設定し、題材を読みすすめていく。



写真① 学習者用デジタル教科書を用いて、Unit冒頭の「ダイアログ」の音声を再生し、レッドリストの野生動物について話している会話を音声のみで聞く。その際、生徒は自分のペースで何度も会話を聞いたり、聞きたい箇所のみを繰り返し再生したりする。



写真② 聞き取った英文から概要を捉えた生徒は、「誰が」「どんな場面で」「どんな内容」を話していたのかクラウド上に共有しているシートに入力する。英文を聞き取ることに難しさを感じている生徒は字幕を表示して聞き直したり、動画の映像から内容を想起したりする。



写真③ 聞き取った内容を全体で共有する。会話の内容について、教師が生徒とやり取りしながら考えを引き出し「絶滅危惧種を守ることについて、動物好きのALTの先生にも納得してもらえるように、読んだことを基に自分の考えを書く」というコミュニケーションの目的や場面、状況を設定する。

この事例のポイント

- ・デジタル教科書の音声再生機能を活用することで、生徒は必要な部分を自分のペースで何度も聞き返すことができ、情報や概要を捉えることができる。
- ・聞き取った内容をクラウド上で同時に共有し、自分と友達の違い等から情報や概要の捉え方について見直したり、単元の学習内容について見通しをもったりすることができる。